



①メイン会場の六本木ヒルズ・メトロハット内。②メトロハットの外観。夜は美しくライトアップされた。③④見ているだけでハッピーな気持ちになれる、笑顔の写真。

## 東京の街を元気にする “Merry”な笑顔たち

Merry in Tokyo

「あなたにとってMerryとはなんですか?」との問いを、街行く人々に投げかけて、その答えのメッセージと笑顔の写真を、ポスターや映像などで展示していく「Merry Project (メリー・プロジェクト)」。グラフィックデザイナー・水谷孝次氏が「人々の笑顔を通して、世界に元気を取り戻してほしい」との思いから1999年に開始した、とびきり「メリー(幸せ、陽気な)なコミュニケーション・アートプロジェクトだ。

今回開催された「Merry in Tokyo (メリー・イン・トウキョウ)」(7月5日~8月31日)では、東京の六本木、汐留、渋谷、丸の内などの街全体をデジタルネットワークで結び、最新通信機器による映像のインスタレーションを展開。水谷氏が撮り下ろした8000人の笑顔の写真と肉筆のメッセージが、

東京の街を華やかに彩った。メイン会場となった六本木ヒルズでは、メトロハットの内外に、笑顔の写真と直筆メッセージが入った大きなポスターをディスプレイ。サラリーマンや観光客が、シンプルな笑顔を持つパワーに引き寄せられるようにして、エスカレーターからじつと展示を見上げている姿が印象的であった。

そのほかに会場となったのは、カレタ汐留や電通本社ビル、日比谷公園、三菱電機ビルなど。すべて入場規制や料金などが発生しない、パブリックスペースを用いた展示である。

「パブリックスペースを使った作品展示は、不特定多数の人々の目に触れやすい上に、反応が返ってきやすい。街自体をキャラクターに変えて、社会や企業を巻き込んだプロジェクトを展開したかったんです」と水谷氏。

⑤⑦三菱電機ビル1階の「DCROSS」。ここに展示された笑顔の写真は、カメラ付き携帯電話「D505i」を用いて撮影された。⑥⑧ゴミ拾いプロジェクトでは、40人の参加者が「Merry Project」オリジナルのゴミ袋を手に、六本木の街に繰り出した。http://www.21merry.net

